

小論文練習帳（中・高校生向け）

2023/03/14

**【サッカー：バックパスルール】**

出題者：捧大地

「サッカーの GK（ゴールキーパー）へのバックパス禁止ルール」というのをご存知だろうか。もし、ご存知なかったら、身近な大人やお友達に聞いてみて欲しい。**ルールを理解してから** 4 ページ目の問題に挑戦してほしい。

（プリントアウトするのは4 ページ目だけにして下さい）

**<実際の小論文では、自分の考えがより分かりやすく読み手に伝わるように、下記の目次を参考にして、小見出しをつけて段落構成をして、書いて下さい>**

**<段落書式 ～参考までに私の拙い論文の目次（段落構成）を紹介します～>**

卒論 目次（第8稿）

目 次

**第1章 はじめに**

- 第1 井上治典先生説例
- 第2 問題の所在
- 第3 両負けの回避

**第2章 主観的予備的併合の紹介**

**第1節 主観的予備的併合の有用性**

- 第1 事案設定
  - 1 法律上併存し得ない事案
  - 2 事実上併存し得ない事案
    - (1) 契約当事者不明型
    - (2) 不法行為型

第2 問題の所在

第3 主観的予備的併合による解決方法

## 第2節 主観的予備的併合への批判

第1款 学説による批判

第2款 最高裁昭和43年判決

## 第3節 最高裁昭和43年判決後の動向

### 第3章 法41条の紹介

#### 第1節 法41条により可能になったこと

第1 法41条により可能になったこと

第2 法41条制定後の主観的予備的併合の必要性

#### 第2節 法41条の限界 — 「法律上併存し得ない関係」に留まる点—

第1 法41条の限界

1 法41条の解決可能範囲の狭さ

2 法41条では解決できない事案

第2 法41条制定後における依然とした主観的予備的併合の必要性

第3 法41条制定後における主観的予備的併合によらない統一審判を図る方法の必要性

### 第4章 統一審判を図るための方法論の検討

#### 第1節 準必要的共同訴訟理論の紹介及びそれへの批判

#### 第2節 訴訟告知による方法の紹介並びにそれへの批判及び限界

第1 訴訟告知により統一審判を図る方法

第2 二つの最高裁判例

1 最高裁昭和45年10月22日判決（民集24巻11号1583頁）

2 最高裁平成14年1月22日判決（判時1776号67頁）

第3 訴訟告知による方法の限界

#### 第3節 法41条を類推ないし拡張する方法

第1 法41条を類推ないし拡張する方法の理由付け

第2 法41条を法律上併存し得ない事案「のみ」と限定した場合の同条の存在意義

第3 法50条3項で法41条が準用されていること — 法50条1項が事実上併存し得ない事案をも含むこと

—

第4 法律上併存し得ないものと事実上併存し得ないものの区別の不明確性

1 法律上併存し得ないものと事実上併存し得ないものの区別の不明確性

(1) 債務引受を例にして

(2) 「ただ一つの契約」を例にして

(3) 民法717条を例にして

2 当事者の主張の仕方により法律上併存し得ないものと事実上併存し得ないものが簡単に変容すること

3 小括

第5 法41条を類推ないし拡張する方法に対する批判への反論

**第4節** 予備的併合としたうえでの主観的順位的併合

第1 単純併合構成の原告における危険

第2 予備的併合としたうえでの主観的順位的併合

**第5章** 上訴審の統一について

**第6章** まとめ

いかがですか、**小見出し付き段落構成だけでも内容の概略が伝わりますよね**

**<実際の小論文では、絶対的な書式ではありませんが以下のような書式を参考にして書いてみて下さい (ちなみにこれは法学部系の書式の一種です)。>**

**第1** ………

1 ………

(1) ………

(2) ………

2

3 ………

**第2** ………

1 ………

2 ………

**第3** **結語** または **まとめ**

**【サッカー：バックパスルール】**

出題者：捧大地

さて、GK へのバックパス禁止ルールがわかったところで、時計をいわゆる同ルールの採用前へ戻して欲しい。

そして、当該ルールを導入すべきか、または、導入すべきではないか、どちらの立場でも構わないので、読み手を説得する文章を書いて下さい。

【もしワードソフトを使える環境にいたら、基礎力の養成期間においては、

パソコンを使って下さい。】

【例によって段落構成（小見出し付き）から始めて下さい。】

【推奨解答時間：90分】【推奨解答文字数：800字～1200字】

<参考小見出し例

**（選択式、順序不同（ランダム）で掲載、適宜自分の考えで変更）>**

- ・味方選手からの GK へのパスには手の使用を認めないとしてよい
- ・味方選手からの GK へのパスには手の使用を認めてよい
- ・結語
- ・手を使うことを禁止すること
- ・現状の問題点
- ・改善策
- ・サッカーの面白さの原点 ～手を使わないこと～
- ・味方選手からの GK へのパスには手の使用を認めないとする
- ・GK に手の使用が認められた理由
- ・サッカーで手を使わないことの理由
- ・
- ・（自分で考えた小見出し）

【解答ができたなら、身近な人に読んでもらって、感想を頂いてみて下さい。自分だけでは気づかないことがみえてきますよ。】